

緑区地域福祉保健計画『みどりのわ・ささえ愛プラン』区民アンケート 調査結果報告書がまとまりました！



緑区では、「『誰もが安心して暮らし続けられる緑区をめざして』～一人ひとりが主役・共に支えあう つながりのあるまちづくり～」を基本理念に、第2期緑区地域福祉保健計画『みどりのわ・ささえ愛プラン』（平成23～27年度）※を推進しています。この計画の進捗状況の振り返りと、新たに策定する第3期計画（平成28～32年度）における基礎資料とするためにアンケートを実施し、報告書がまとまりました。

このアンケート調査結果報告書は緑区役所HP（下記URL）で公開しているほか、区役所福祉保健課の窓口でも閲覧できます。

※閲覧できるHP⇒<http://www.city.yokohama.lg.jp/midori/50info/55kyoudou/fukuho/>

区民アンケート調査概要

＜調査概要＞

- ◆調査期間 平成26年8月21日（木）～9月8日（月）
- ◆調査対象 20歳以上の緑区民 4,500人（無作為抽出）
- ◆調査方法 郵送によるアンケートの配布及び回収
- ◆調査内容（合計30問）

- (1)回答者の概況
- (2)「みどりのわ・ささえ愛プラン」基本目標の5つのキーワードに沿った領域別設問
- (3)福祉保健全般に関する設問

- ◆回収数 1301件 回収率28.9% 有効票 1301件



区民アンケート調査結果概要

基本目標の5つのキーワードでみていくと、次のようなことがわかりました！

地域でのつながり

あいさつや声かけに積極的な人は、地域での助け合いの経験がある人が多く、身近な住民同士のつながりがあることがうかがえます。

地域でのボランティア活動への参加(人材・担い手)

隣近所で困っている方の手助けや見守りについて、「将来(頼まれたら)できそう」という回答があった項目は、回答者の年齢層や性別によっても特徴があります。

地域活動のための機会・場

地域活動に「参加している」「いずれ参加したいと思っている」人は、自分の健康状態が「よい」「まあよい」と回答した人が多く、機会・場の活用が健康に良い影響を与えることがうかがえます。

福祉保健に関する情報

あいさつや声かけをしている人ほど、地域の福祉保健に関する施設・団体・委員などの地域情報を多く知っており、情報が入りやすいネットワーク内にいると考えられます。

安全・安心・健康

自治会加入者は防災の取組の必要性をより感じており、防災意識の高さと共助に対する理解が高いことがうかがえます。



※ 第2期『みどりのわ・ささえ愛プラン』は、区民の皆様とともに平成23年3月に策定しました。

計画の内容は、5つの基本目標ごとに具体的な取組を示し、区民、事業者、緑区社会福祉協議会、緑区役所との協働で推進しています。

お問合せ先

緑区福祉保健課 課長 青木 かの子 Tel 045-930-2352